

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

しもかわ橋の小川

(2) 土手から川原(はんらん原)や水の 流れを観察する。

① 土手の上から小川の全景をスケッチ
する。

② はんらん原や川岸の様子などを書き
入れる。

はんらん原は葎で覆われていますが、
大雨の後など冠水する場所である。こ
のはんらん原は、小川が大きく曲がる
内側にあるか、外側にあるか。他の場
所でも調べる。

また、コンクリート防岸工事がして
あるのは、小川が曲がる外側で、なぜ
工事がおこなわれたのか、話し合う。

(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べ る。

① 橋の附近⑦と、コンクリート防岸が終る④附近とで、流速が違う。木片を
流して調べる。

② はんらん原から、川底を観察すると、⑦附近の川底と、④附近の川底とで
様子が違う。

⑦の川底は砂が積もっているが、④の川底はレキが積もっている。

また、水中のぞき箱で④の川底を観察すると、砂やゴミが流されている様
子がわかります。

川の流れの速さと川底に積もる砂やレキの大きさの間に、どのような関係
があるかまとめる。

